



「海外活動支援」の活用をぜひご検討ください！

(一財)自治体国際化協会北京事務所 所長補佐

戸國 峻 (鳥取県派遣)、薦田 拓巳 (愛媛県派遣)、山田 知輝 (岐阜県派遣)

クリア北京事務所では、従来から、地方自治体の皆様への「海外活動支援」として、「イベントなどのPR支援」や「訪問先・調査先へのアポイントメントの取り付け、連絡調整」などを行っています。

今年に入り、中国国内でさまざまな活動が活発に行われる中、日本の自治体の皆様の訪中や、イベント開催が増えつつあります。

ここでは、ここ最近の活動支援事例をご紹介します。ぜひご参照いただき、当事務所の「海外活動支援」の活用をご検討いただければと思います。

フェア開催・ブース出展支援 (鳥取県)

鳥取県は、2023年8月25日から27日にかけて、浙江省寧波市における県産日本酒フェアと観光イベントにおいてブースを出展しました。

25日には、寧波阪急百貨店にある飲食店「鳥萬」において、県独自の日本酒フェアを開催しました。「鳥萬」は今年オープンしたばかりの焼き鳥店です。今まで日本酒の取り扱いを行っていませんでしたが、このたび、鳥取県産の日本酒をメニューに追加することとしたものです。

当日のイベントには、中国のSNSで影響力を持つKOL (Key Opinion Leader) 3名、旅行社6名、一般公募3名の計12名が参加。クリア北京事務所職員は、当日のイベントの進行を担当しました。

続く26日と27日には、同百貨店の寧波ジャパンブランドにおいて、鳥取県がブースを出展しました。当イベントは日本の物産品を紹介するBtoCイベントです。寧波ジャパンブランド実行委員会主催、在上海日本国領事館共催、JNTO 上海、JETRO 上海および日中経済協会上海事務所の後援で開催されました。

鳥取県は、現地の酒販売業者とともに、県産酒の情報

発信と試飲・販売を実施しました。

クリア北京事務所職員は、酒販売業者とともに県産酒のPRを行うとともに、合わせて、鳥取県の観光PRを行いました。また、メインステージで発表をする機会もあり、鳥取県産日本酒の紹介や、日本酒が当たるクイズ大会を実施しました。

いずれのイベントでも、日本酒について、参加者からは「飲みやすい」といった感想が聞かれ、日本酒の参入ポテンシャルを感じました。



鳥取県ブース出展の様子

経済活動支援 (愛媛県)

愛媛県では、2023年7月12日から15日の4日間、愛媛県と県内企業が「2023年度国分グループ展示商談会」でのブース出展のため、上海市を訪れました。クリア北京事務所では、ブースの出展支援や関係各所への訪問のアポイントメント取り (アポ取り)、アテンドを行いました。

当展示商談会は日本産の輸入食品・酒類などを対象としたもので、日本から26社、中国国内から88社の計114社が出展しました。クリア北京事務所職員は、展示会前日の準備や説明会に立ち会い、ブースの設営補助を

行ったほか、当日の声かけなども実施しました。愛媛県ブースでは小魚珍味などのサンプル展示・試食を通じてPRを行いました。当日は約1,200人の来場者があり、展示品に興味深そうに手に取ったり、真剣な表情で試食したりするバイヤーの姿が見受けられました。

また、アポ取りについては、上海市内の訪問先の調整のほか、周辺の関係機関の紹介・訪問先の提案なども行いました。アポ取りにあたっては、中国国内に拠点を置く日本自治体の共同機関という強みを活かし、日本の政府機関や自治体事務所のほか、民間企業、中国地方政府などと幅広く行っております。

アテンドについては、合流した空港から展示会場や宿泊ホテル、希望する視察先への案内を行うとともに、中国独自の仕組みや手続きに関する情報提供を行いました。とりわけ、日本とは大きく異なる中国独自の決済方法や交通手配については、クレア北京事務所の支援によりスムーズに行うことができました。



愛媛県ブース出展の様子

青少年交流支援（岐阜県）

岐阜県は、2023年8月21日から27日にかけて、江西省にて実施された江西省人民対外友好協会主催の「国際友好都市青少年交流事業」に参加しました。江西省の友好都市として、岐阜県から22名の学生が参加しました。クレア北京事務所では、岐阜県からの活動支援依頼を受け、現地アテンド対応などを行いました。

日本からは岐阜県のほかに岡山県、香川県の学生が参加し、日中合わせて約130名の学生が交流を深めました。ほかにも、韓国やスリランカなど江西省と交流があるさまざまな国の学生が参加しており、中国以外の学生とも交流を行っていました。

8月22日に開催された交流セミナーでは、まず、午前中に世界各国の参加者がプレゼンテーションを行いました。日本訪問団代表として、岐阜県中部学院大学の学生が堂々と素晴らしいプレゼンテーションを行いました。午後からは、中日青少年交流セミナーが開催され、中国からの熱烈な歓迎パフォーマンスが行われました。日本訪問団も歌や踊りなどのパフォーマンスを行い、会場は大いににぎわっていました。

23日から27日にかけては、南昌市と景德鎮市内において文化体験や見学などを行いました。江西省が世界に誇る陶磁器産業やVR技術、航空機産業施設を見学し、中国の技術力の高さに、参加者は感心していました。

参加した学生たちは、国際交流や文化体験を経てさまざまな視点や考え方が生まれており、改めて学生間国際交流の意義を感じました。今回の活動支援は、学生のアテンドということで、クレア北京事務所としてもさまざまな配慮を行いながら実施しました。



中日青少年友好交流大会の歓迎レセプションの様子

まとめ

今回ご紹介したように、今年に入り、日中間の往来が活発化する中、さまざまな形で日中の地域間交流が行われています。クレア北京事務所の活動支援については、従来から、自治体の皆様のニーズに応じて、柔軟に行っております。今後も、自治体の皆様が中国国内での活動を検討いただくにあたり、上記の各種取り組みをはじめ、さまざまな形で活動支援をさせていただきたいと思っておりますので、クレア北京事務所の「海外活動支援」のご活用をぜひご検討ください！

(参考：海外活動支援ホームページ)

<https://www.clair.or.jp/j/operation/shien/index.html>